

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
及び家計消費の月別動向について(月報)**
(平成20年11月)

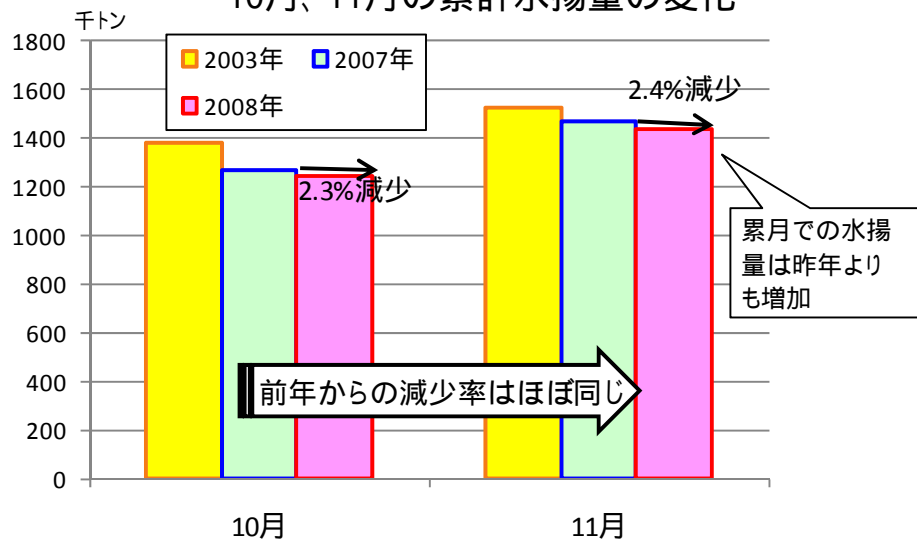
平成20年1月
水産庁漁政部企画課

1 産地水揚量の動向

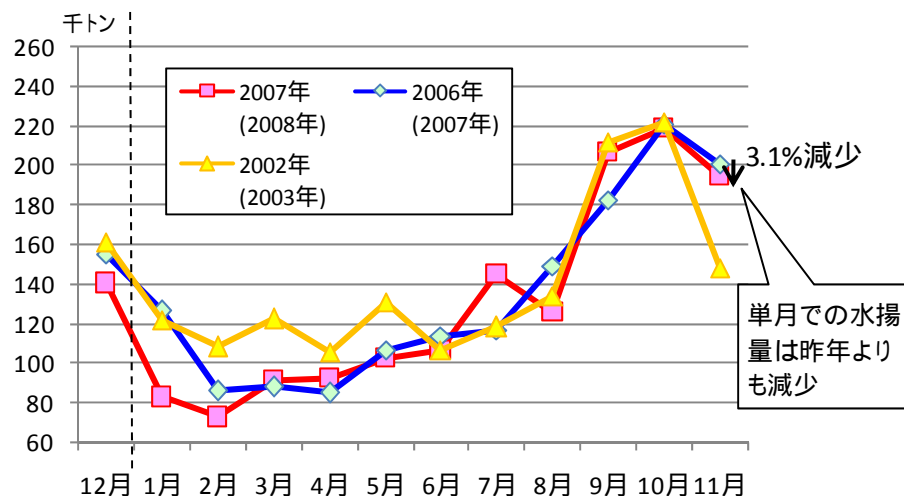
2008年11月の水産物の累計の産地水揚量は前年同月比で2.4%減少したが、前年同月比2.3%減であった先月時点と比べ、減少幅がわずかに拡大した。これは前年同月と比べ、11月単月ベースでさば類(25%増)等の水揚量が増加したものの、冷凍かつお(17%減)、さんま(8%減)等で減少したことにより、単月ベースでの水揚量が3.1%減少したことによる。

なお、前年同月と比べ累計水揚量が少ないのは、累月ベースでさば類、ほっけ等の水揚量が増加したものの、かたくちいわし、生鮮するめいか等は減少したことによる。

10月、11月の累計水揚量の変化



産地水揚量の推移(単月ベース)



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20累計
水揚量	数量(千トン)	1614	83	73	91	92	103	107	145	126	206	219	194	1,438
	前年同月比	-3.3%	-34.4%	-15.2%	3.8%	9.0%	-3.6%	-6.3%	24.6%	-15.7%	13.3%	-0.9%	-3.1%	-2.4%
	2003年同月比	3.1%	-32.0%	-32.8%	-25.3%	-12.2%	-21.5%	0.2%	22.9%	-6.1%	-2.3%	-1.5%	47.9%	-5.8%

出典：農林水産省「水産物流通統計年報」(2002年)、「産地水産物流通統計」

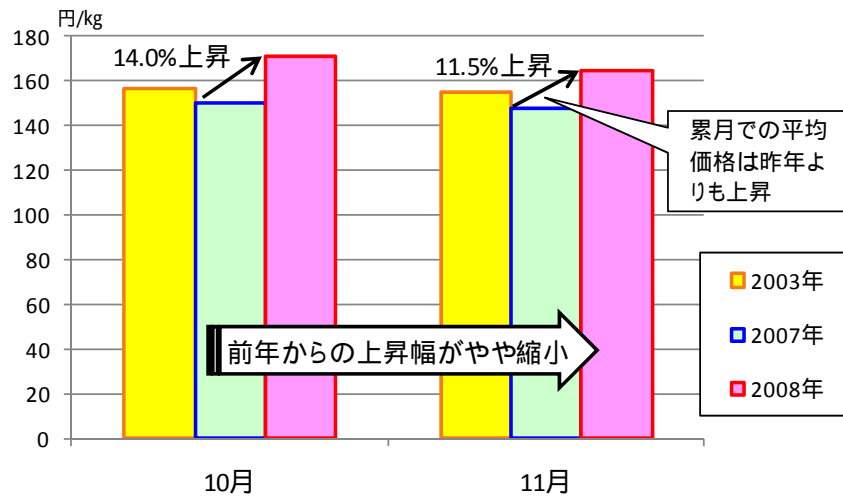
- 1) 本統計は、全国2263漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5696千トン、概算値)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2002、2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、2002年合計値との比較である。

2 産地平均卸売価格の動向

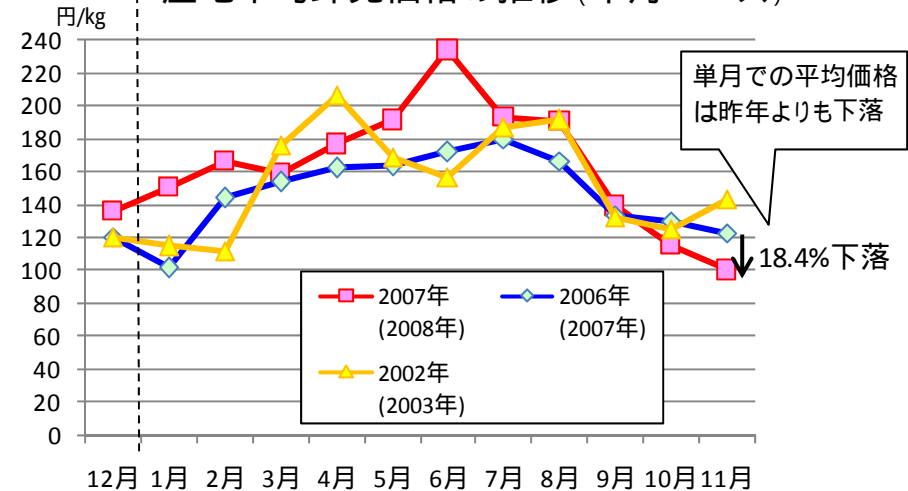
2008年11月までの平均(累計平均)の産地卸売価格は、前年同月比で11.5%上昇したが、前年同月比14.0%上昇であった先月よりも上昇幅がやや縮小した。これは、11月単月ベースでほっけ(79%上昇)等の価格が上昇した以上に生鮮めばち(31%下落)、生鮮するめいか(43%下落)等で下落したことで単月での平均価格が前年同月比で18.4%下落したことによる。

なお、前年同月と比べ累計での平均価格が高いのは、累月ベースで生鮮きはだ、するめいか等の価格が下落したものの、ほっけ、さば類等の価格が上昇したことによる。

10月、11月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



		H19平均	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20平均
平均産地 卸売価格	価格(円/kg)	147	150	166	159	177	191	233	193	191	139	115	100	165
	前年同月比	9.1%	48.4%	15.8%	3.5%	9.0%	17.0%	36.1%	7.3%	15.0%	4.0%	-11.5%	-18.4%	11.5%
	2003年同月比	-3.6%	31.3%	49.3%	-9.7%	-14.2%	13.4%	49.5%	3.0%	0.0%	5.0%	-7.9%	-30.2%	6.0%

出典：農林水産省「水産物流通統計年報」(2002年)、「産地水産物流通統計」

- 注：1) 本統計は、全国2263漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5696千トン、概算値)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2002、2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、2002年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)		
	平成20年 1月～11月	19年 1月～11月	対前年 同期比	平成20年 1月～11月	19年 1月～11月	対前年 同期比
			%			%
まぐろ (生鮮) 1	2 694	3 401	79	1 642	1 600	103
〃 (冷凍) 2	838	744	113	2 953	2 647	112
びんなが (生鮮) 3	29 360	45 546	64	314	239	131
〃 (冷凍) 4	9 178	14 682	63	399	292	137
めばち (生鮮) 5	8 247	10 783	76	1 147	1 092	105
〃 (冷凍) 6	18 665	17 899	104	856	790	108
きはだ (生鮮) 7	9 920	6 138	162	646	726	89
〃 (冷凍) 8	8 601	9 166	94	588	517	114
かつお (生鮮) 9	75 716	72 610	104	299	276	108
〃 (冷凍) 10	199 155	202 168	99	201	162	124
まいわし 11	15 416	41 386	37	113	101	112
うるめいわし 12	20 920	29 585	71	61	64	95
かたくちいわし 13	88 392	123 206	72	55	43	128
まあじ 14	92 341	88 802	104	220	189	116
むろあじ 15	18 465	12 883	143	101	103	98
さば類 16	403 478	356 100	113	87	82	106
さんま 17	257 254	251 599	102	73	73	100
ほっけ 18	105 428	82 835	127	58	42	138
するめいか (生鮮) 19	43 595	73 978	59	159	163	98
〃 (冷凍、遠洋) 20	1 269	2 505	51	183	198	92
〃 (冷凍、近海) 21	37 976	43 366	88	213	237	90

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

注:1)平成19年1月分調査より調査区の見直しを行った。なお、「対前年同期比」は、平成18年より引き
続き調査を行っている調査区のみで算出している。

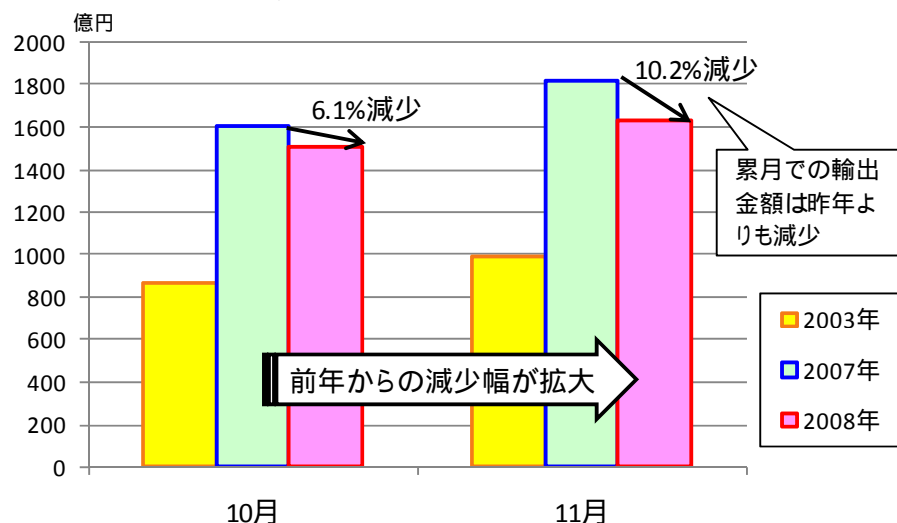
2)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

3 - 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

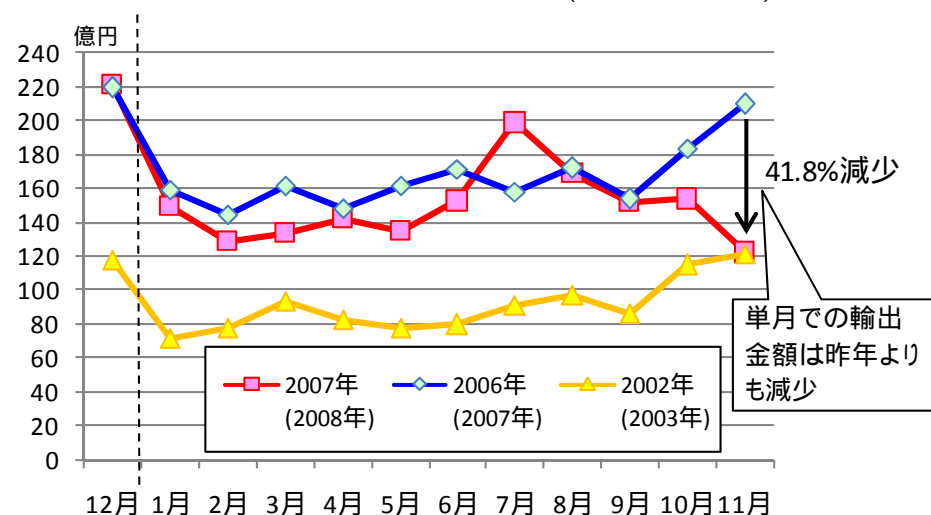
2008年11月の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は前年同月比で10.2%減少したが、前年同月比6.1%減少であった先月よりも減少幅が拡大した。これは前年同月と比べ単月ベースでホタテ貝(22%増)、さけ・ます(4%増)等の輸出金額が増加した以上に乾燥なまこ調製品(44%減)、貝柱調製品(92%減)等で減少したことで、11月単月ベースでの輸出金額が41.8%減少したことによる。

なお、前年同月と比べ累計の輸出金額が少ないのは、累月ベースでかつお類、ホタテ貝等で輸出金額が増加したものの、まぐろ類、乾燥なまこ調製品等で輸出金額が減少したことによる。

10月、11月の累計輸出金額の変化



水産物輸出金額の推移(単月ベース)



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20累計
輸出	金額(億円)	2,039	149	128	133	142	134	152	198	169	152	153	122	1,633
	前年同月比	19.7%	-6.5%	-10.9%	-17.3%	-3.9%	-16.8%	-10.9%	26.0%	-1.6%	-0.9%	-16.3%	-41.8%	-10.2%
	2003年同月比	97.4%	108.1%	66.2%	42.6%	72.8%	73.5%	91.8%	119.0%	74.5%	76.6%	33.8%	0.7%	65.0%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の「前年同月比」については、2002年合計値との比較である。

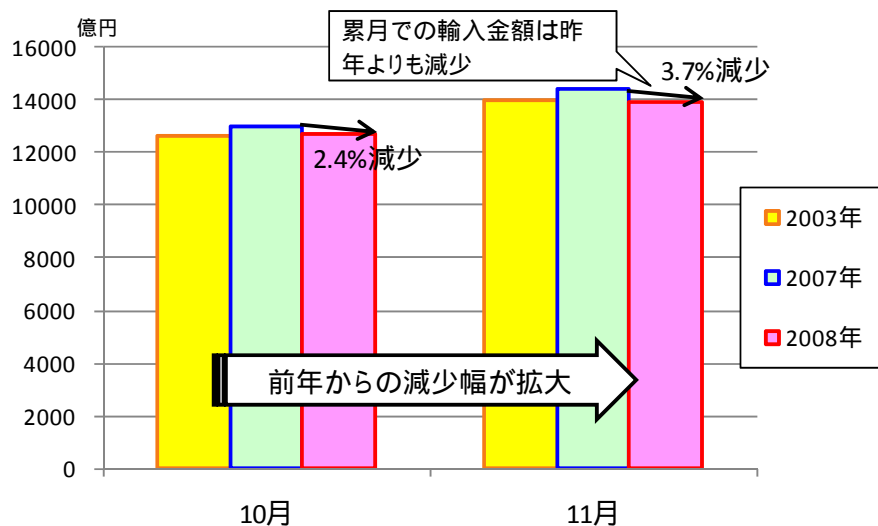
2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3 - 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

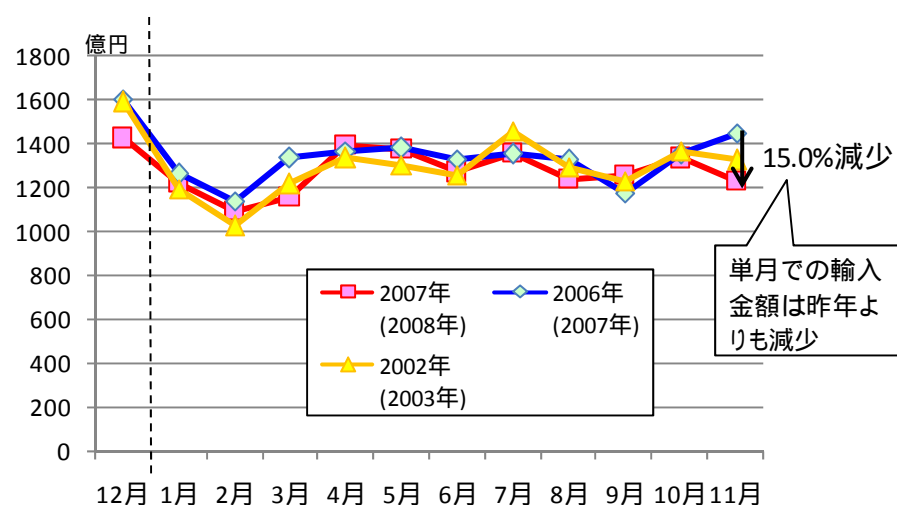
2008年11月の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は前年同月比で3.7%減少したが、前年同月比2.4%減少であった先月よりも減少幅が拡大した。これは前年同月と比べ、11月単月ベースでかに(10%増)、えび(9%減)等の輸入金額が減少したものの、えび(26%減)、まぐろ類(32%減)等が減少したことにより、単月ベースでの輸入金額が15.0%減少したことによる。

なお、前年同月と比べ累計輸出金額が少ないのは、累月ベースでの輸入金額がたらの卵、たら等で増加したものの、えび、さけ・ます等の輸入金額が減少したことによる。

10月、11月の累計輸入金額の変化



水産物輸入金額の推移(単月ベース)



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20累計
輸入	金額(億円)	15870	1218	1094	1157	1390	1376	1270	1355	1236	1253	1332	1230	13911
	前年同月比	-4.3%	-3.4%	-3.9%	-13.2%	1.8%	-0.1%	-4.4%	0.2%	-6.6%	7.0%	-1.4%	-15.0%	-3.7%
	2003年同月比	-8.3%	2.2%	7.0%	-4.7%	4.3%	5.9%	1.0%	-6.9%	-4.5%	1.8%	-2.2%	-7.0%	-0.5%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の「前年同月比」については、2002年合計値との比較である。

2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成20年 1～11月	平成19年 1～11月	前年 同月比	品目	平成20年 1～11月	平成19年 1～11月	前年 同月比
真珠	300.3	343.0	-12.5%	まぐろ・かじき類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	1937.0	1918.7	1.0%
ほたて貝 (生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	142.4	113.2	25.8%	えび (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	1796.3	2048.0	-12.3%
さば (冷蔵・冷凍)	141.8	133.8	6.0%	さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	1179.7	1308.8	-9.9%
乾燥なまこ (調製)	119.3	152.1	-21.6%	かに (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	604.1	583.7	3.5%
かつお類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	100.7	75.2	33.9%	たらの卵	560.6	435.9	28.6%
さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	93.5	115.4	-19.0%	えび (調製)	494.6	545.7	-9.4%
まぐろ類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	88.7	139.2	-36.3%	真珠	389.2	462.7	-15.9%
すけとうだら (生鮮・冷凍・冷蔵)	63.7	99.9	-36.2%	たら (生鮮・冷蔵・冷凍・すり身)	388.4	318.9	21.8%
貝柱 (調製)	59.5	77.7	-23.4%	いか (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	367.2	490.0	-25.1%
練り製品 (魚肉ソーセージ等)	56.7	53.0	7.0%	たこ (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	309.3	307.8	0.5%
さんま (冷凍)	40.3	20.0	101.2%	魚粉	22.2	35.1	-36.7%
いか (生鮮・冷凍・冷蔵)	37.3	18.7	98.9%	うなぎ (活)	22.0	21.3	3.5%

資料：農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

注：1) 本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

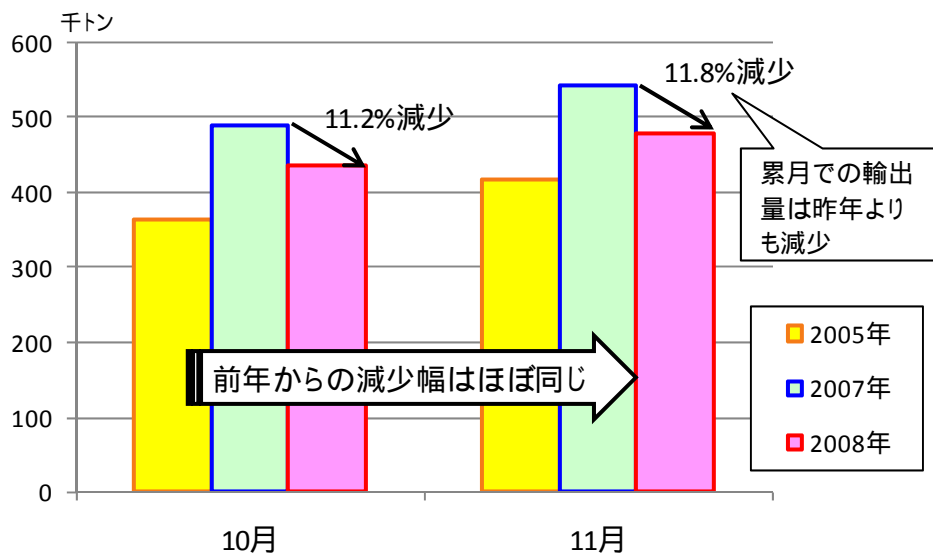
2) 「まぐろ・かじき類」は、輸出については輸出入情報の「まぐろ類」と、財務省貿易統計の「かじき」を合算して算出し、輸入については輸出入情報の「まぐろ類」と「かじき」を合算して算出。

4 - 水産物輸出数量の動向

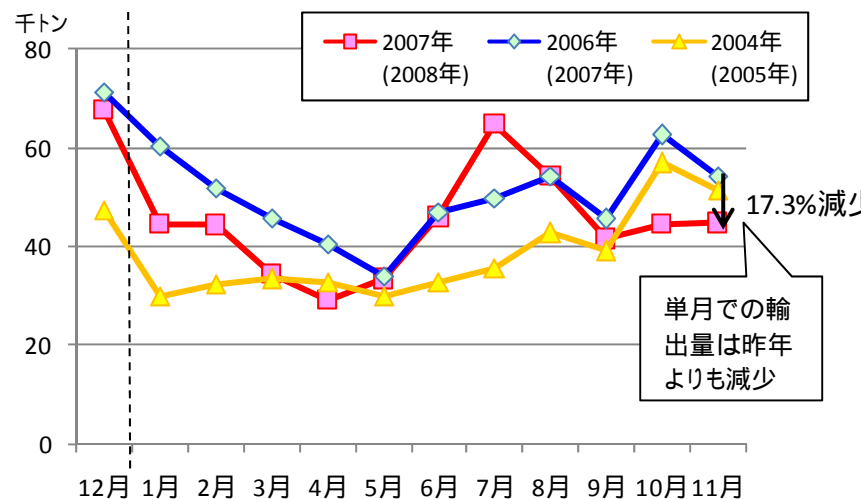
2008年11月の水産物の累計輸出量は前年同月と比べ11.8%減少し、前年同月比11.2%であった先月よりも減少幅がやや拡大した。これは前年同月と比べ、単月ベースでさんま(24%増)、ホタテ貝(48%増)等の輸出量が増加したものの、すけとうだら(54%減)、さけ・ます(20%減)等が減少したことにより、単月ベースでの輸出量が17.3%減少したことによる。

なお、前年同月と比べ累計輸出量が少ないのは、累月ベースでさんま、いか等の輸出数量が増加したものの、まぐろ類、すけとうだら等で減少したことによる。

10月、11月の累計輸出量の変化



水産物輸出数量の推移(単月ベース)



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20累計
輸出	数量(千トン)	612.2	44.5	44.3	34.3	29.2	33.4	45.9	64.6	54.1	41.4	44.5	44.7	480.7
	前年同月比	1.4%	-26.2%	-14.3%	-24.9%	-27.9%	-1.8%	-1.9%	30.0%	-0.3%	-9.1%	-28.8%	-17.3%	-11.8%
	2005年同月比	44.3%	48.8%	36.9%	2.6%	-11.3%	11.3%	40.5%	80.9%	27.1%	6.0%	-21.6%	-12.9%	15.4%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の については、2004年合計値との比較である。

2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

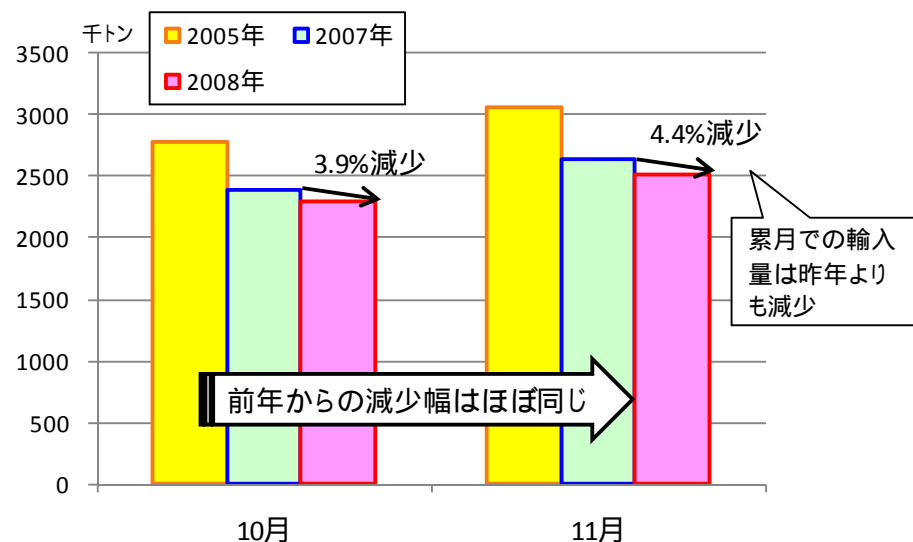
3) 輸出入数量については、2003年以前の月別データがないため2005年値との比較である。

4 - 水産物輸入数量の動向

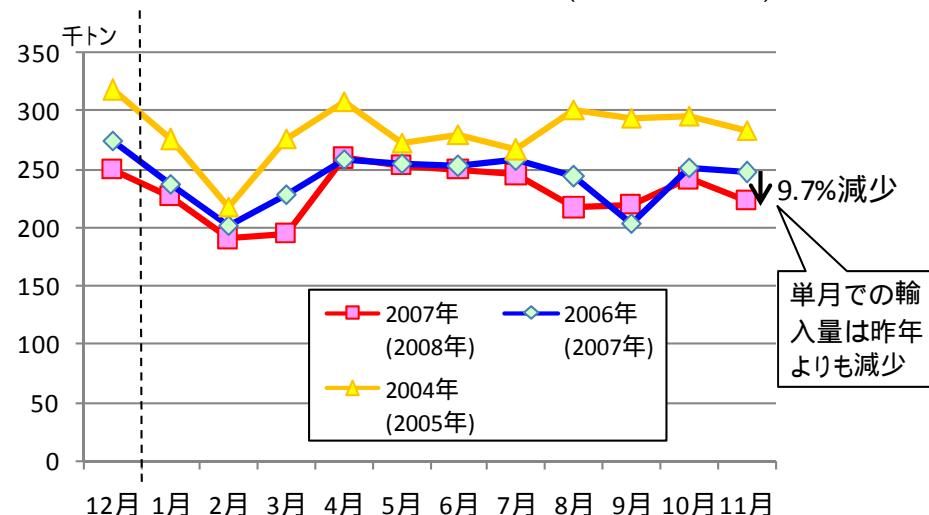
2008年11月の水産物の累計輸入量は前年同月比で4.4%減少し、前年同月比3.9%減少であった先月よりも減少幅がやや拡大した。これは前年同月に比べ、11月単月ベースであさり(110%増)、ひらめ・かれい(15%増)等の輸入量が増加したものの、さけ・ます(26%減)、えび(20%減)等が減少したことにより、単月ベースでの輸入量が9.7%減少したことによる。

なお、前年同月と比べ累計輸入量が少ないのは、累月ベースでさけ・ます、ひらめ・かれい等の輸入量が増加したものの、魚粉、たら等で減少したことによる。

10月、11月の累計輸入量の変化



水産物輸入数量の推移(単月ベース)



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20累計
輸入	数量(千トン)	2,884	226	190	194	259	253	250	245	216	219	241	223	2,517
	前年同月比	-8.4%	-4.6%	-6.0%	-14.7%	0.4%	-0.5%	-1.0%	-4.6%	-10.9%	7.6%	-4.1%	-9.7%	-4.4%
	2005年同月比	-17.3%	-17.7%	-12.8%	-29.7%	-15.7%	-7.1%	-10.6%	-7.8%	-28.1%	-25.3%	-18.3%	-21.1%	-17.9%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1)表中の については、2004年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3)輸出入数量については、2003年以前の月別データがないため2005年値との比較である。

(参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成20年 1～11月	平成19年 1～11月	前年 同月比	品目	平成20年 1～11月	平成19年 1～11月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	126.2	149.1	-15.4%	魚粉	280.1	332.2	-15.7%
かつお類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	57.6	51.0	12.8%	さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	227.7	217.4	4.7%
さんま (冷凍)	48.5	21.4	126.5%	まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	195.6	215.5	-9.2%
さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	40.7	49.4	-17.6%	えび (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	183.5	193.5	-5.1%
すけとうだら (生鮮・冷凍・冷蔵)	35.1	65.2	-46.1%	いか (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	84.3	108.5	-22.3%
いか (生鮮・冷凍・冷蔵)	28.4	12.4	129.3%	たら (生鮮・冷凍・冷蔵。 すけとうだらを除く。)	81.2	95.6	-15.0%
まぐろ類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	22.6	45.0	-49.8%	かに (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	65.5	67.5	-2.9%
ほたて貝 (生鮮・冷凍・冷蔵・ 塩蔵・乾燥)	11.1	8.0	38.7%	えび (調製)	57.7	60.8	-5.1%
練り製品 (魚肉ソーセージ等)	7.4	7.6	-49.8%	ひらめ・かれい (生鮮・冷蔵・冷凍)	55.4	47.3	17.2%
たら (生鮮・冷凍・冷蔵・ すけとう除く)	7.3	13.1	38.7%	たらの卵	43.6	39.2	11.2%
ほや (活・生鮮・冷蔵)	6.0	5.9	-2.3%	さば (生鮮・冷蔵・冷凍)	42.0	24.8	69.0%
たい (活)	5.2	3.0	-44.8%	たこ (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	39.9	42.1	-5.3%

資料：農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

注：1) 本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

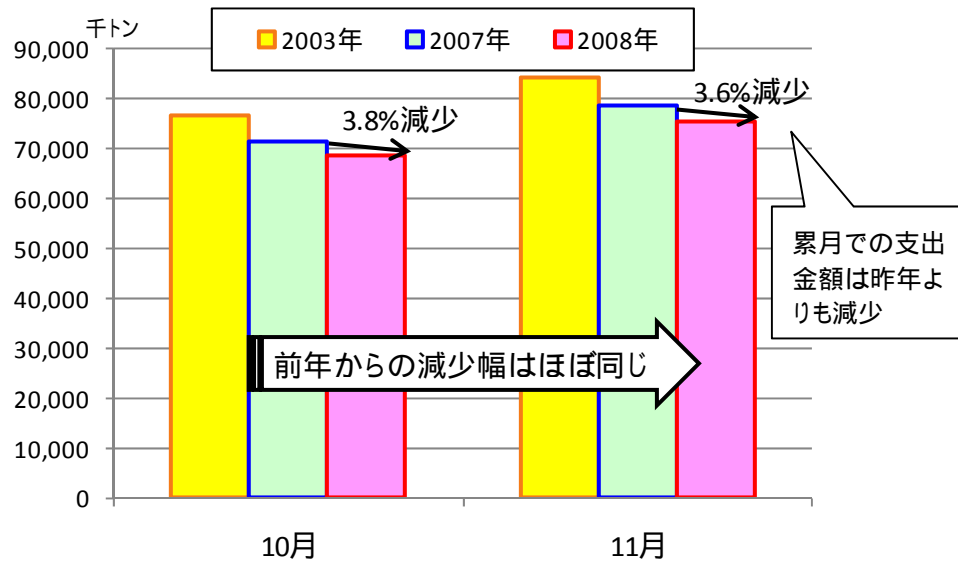
2) 「まぐろ・かじき類」は、輸出については輸出入情報の「まぐろ類」と、財務省貿易統計の「かじき」を合算して算出し、輸入については輸出入情報の「まぐろ類」と「かじき」を合算して算出。

5 魚介類の家計消費の動向

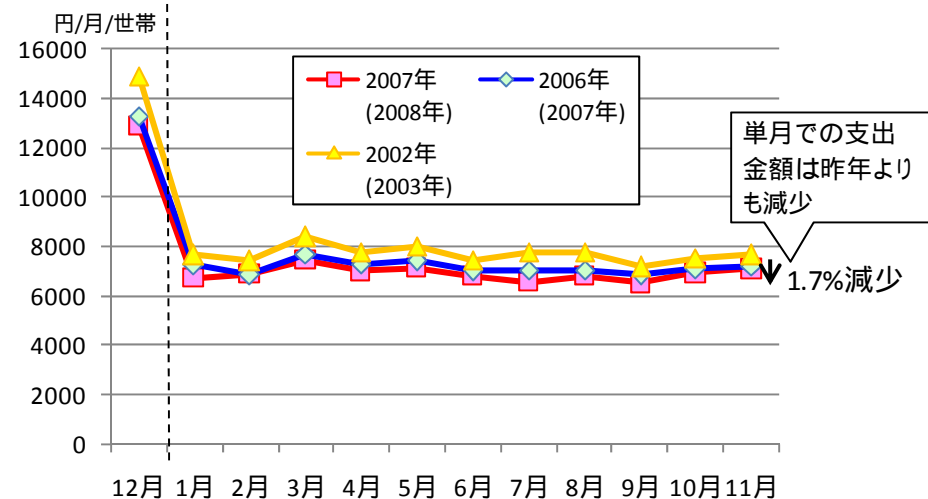
2008年11月の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は前年同月と比べ3.6%減少し、前年同月比3.8%減少であった先月よりも減少幅がやや縮小した。これは、11月単月ベースでえび(9.0%増)、魚肉練製品(4.6%増)等の支出金額が増加した以上にまぐろ(18.5%減)、さば(18.0%減)等が減少したことにより単月ベースでの総支出金額が減少したものの、減少率が1.7%と低かったことによる。

なお、前年同月と比べ累計支出金額が少ないのは、累月ベースでさけ、たい等の支出金額が増加したものの、まぐろ、かに等で減少したことによる。

10月、11月の魚介類1世帯1月あたり累計支出金額の変化



魚介類1世帯1月あたり支出金額の推移(単月ベース)



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20累計
魚介類支出金額	金額(円/月/世帯)	91,421	6,700	6,888	7,411	6,992	7,113	6,764	6,556	6,805	6,510	6,904	7,079	75,722
	前年同月比	-0.1%	-7.3%	0.8%	-3.5%	-3.8%	-3.9%	-3.2%	-7.0%	-3.3%	-4.5%	-2.3%	-1.7%	-3.6%
	2003同月比	-12.3%	-12.3%	-6.8%	-11.3%	-10.2%	-11.1%	-9.3%	-15.7%	-12.2%	-9.0%	-8.0%	-7.4%	-10.3%

資料:総務省「家計調査報告」

注: 1) 表中の については、2002年合計値との比較である。

2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

4) 毎月初旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の一世帯当たり支出金額

品目	平成20年 11月	平成19年 11月	対前年 同月比	平成20年 1~11月	平成19年 1~11月	対前年 同月比	品目	平成20年 11月	平成19年 11月	対前年 同月比	平成20年 1~11月	平成19年 1~11月	対前年 同月比
鮮魚	3,656	3,788	-3.5%	41,082	43,860	-6.3%	ほたて貝	128	118	8.5%	1,367	1,310	4.4%
まぐろ	418	513	-18.5%	5,150	6,059	-15.0%	他の貝	29	27	7.4%	470	514	-8.6%
あじ	104	116	-10.3%	1,544	1,645	-6.1%	塩干魚介	1,373	1,355	1.3%	14,218	14,332	-0.8%
いわし	33	40	-17.5%	557	702	-20.7%	塩さけ	188	179	5.0%	1,810	1,748	3.5%
かつお	67	70	-4.3%	1,653	1,820	-9.2%	たらこ	251	268	-6.3%	2,660	2,719	-2.2%
かれい	132	141	-6.4%	1,477	1,514	-2.4%	しらす干し	123	120	2.5%	1,441	1,438	0.2%
さけ	351	369	-4.9%	3,841	3,701	3.8%	干しあじ	85	101	-15.8%	1,072	1,169	-8.3%
さば	100	122	-18.0%	1,056	1,232	-14.3%	干しいわし	29	34	-14.7%	384	397	-3.3%
さんま	142	130	9.2%	1,395	1,433	-2.7%	煮干し	44	42	4.8%	415	473	-12.3%
たい	101	92	9.8%	1,227	1,083	13.3%	他の塩干魚介	653	611	6.9%	6,437	6,386	0.8%
ぶり	324	328	-1.2%	2,785	3,022	-7.8%	魚肉練製品	814	778	4.6%	7,655	7,377	3.8%
いか	224	212	5.7%	2,636	2,741	-3.8%	揚げかまぼこ	277	260	6.5%	2,362	2,315	2.0%
たこ	83	86	-3.5%	1,123	1,223	-8.2%	ちくわ	172	155	11.0%	1,605	1,526	5.2%
えび	266	244	9.0%	2,987	3,047	-2.0%	かまぼこ	207	212	-2.4%	2,421	2,411	0.4%
かに	196	240	-18.3%	1,126	1,285	-12.4%	他の魚肉練製品	159	151	5.3%	1,269	1,128	12.5%
他の鮮魚	709	697	1.7%	7,577	7,976	-5.0%	他の魚介加工品	782	837	-6.6%	8,710	9,025	-3.5%
さしみ盛合わせ	405	386	4.9%	4,945	5,372	-7.9%	かつお節・削り節	77	82	-6.1%	864	882	-2.0%
貝類	455	444	2.5%	4,055	3,974	2.0%	魚介の漬物	215	247	-13.0%	2,344	2,488	-5.8%
あさり	60	67	-10.4%	1,032	1,022	1.0%	魚介のつくだ煮	86	104	-17.3%	960	1,106	-13.2%
しじみ	33	33	0.0%	404	455	-11.2%	魚介の缶詰	192	185	3.8%	2,137	2,096	2.0%
かき	206	198	4.0%	787	672	17.1%	他の魚介加工品の その他	211	220	-4.1%	2,406	2,458	-2.1%

資料：総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における2007年合計値は速報値である。

次回(2008年12月版)の発行は、2008年2月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 森田

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344